

第1回 多摩市産業振興推進会議議事録

日	時	令和5年5月19日(金) 午後6時00分から午後7時10分まで
会	場	多摩市役所 東庁舎会議室
議	題	1 会長の選定について 2 副会長の指名 3 多摩市産業振興推進会議の運営について 4 市内事業所現況調査について 5 部会の設置について（※決定は次回推進会議を予定）
出席委員		副会長：石原 義仁 委員：竹内 利明 委員：岩井 隆之 委員：渡邊 充 委員：木村 康二 委員：川端 英俊 委員：樋掛 太一 委員：神田 篤 委員：佐伯 瑞絵 委員：横溝 惇 委員：荒木 喜美子 委員：佐藤 稔（都市整備部長） 委員：磯貝 浩二（市民経済部長）
欠席委員		松本 祐一（会長）
事務局職員		渡邊経済観光課長 商工観光担当：沢出、豊泉、藤原
配布資料		資料1 多摩市産業振興推進会議設置要綱 資料2 多摩市産業振興推進会議委員名簿 資料3 （仮称）多摩市産業振興マスタープランの策定について 資料4 多摩市産業振興推進会議の運営について（案） 資料5 市内事業所現況調査票（案） 資料6 東京都多摩市基本計画 資料7 地域未来投資促進法に係る基本計画 効果検証 参考資料 多摩市の現状 多摩市の施策

(開会時刻：午後6時00分)

- 事務局 会議の開始を宣言し、配布資料の確認及び議事日程の確認。
初回なので自己紹介をお願いします(全員自己紹介)。
- 市民経済部長 会長が選任されるまで会議の進行を行う。「議題1 会長の選定について」事務局からの説明を求める。
- 事務局 「資料1 多摩市産業振興推進会議設置要綱」により説明。
市民経済部長 「会長の選定」について、立候補、推薦はあるか。
委員 欠席されているが、松本委員を推薦する。この会議の前身である、多摩市と多摩信用金庫、多摩大学の三者連携による会議体、BS多摩プラットフォーム推進協議会の会長を務めており、多摩市の創業支援について見識があり、また、多摩大学総合研究所長を務めており、適任と考え推薦する。
- 市民経済部長 松本委員を推薦いただいた、他にあるか。松本委員は本日欠席だが、本人の意向等について事務局は確認しているか。
- 事務局 仮に会長に推薦された場合は引き受けてもいいことを確認している。
市民経済部長 会長に松本委員を選定することに賛成の場合は挙手を。「挙手全員」により、松本委員を会長に選定することに決定。会長が決まったが、会長不在のため、副会長が選定されるまで、会議を進行する。「議題2 副会長の指名について」事務局から説明を求める。
- 事務局 「資料1 多摩市産業振興推進会議設置要綱」により、副会長は会長が指名することになることを説明。
市民経済部長 事務局で松本会長の意向は確認しているか。
事務局 多摩信用金庫の石原委員を副会長として指名したいとの意向を確認した。
市民経済部長 松本会長の意向を確認しているが、石原委員を副会長とすることでいいか。反対意見はないので決定する。要綱により、以降の進行は石原副会長にお願いする。
- 副会長 「議題3 多摩市産業振興推進会議の運営について」事務局から説明を求める。
事務局 「資料4 多摩市産業振興推進会議の運営について(案)」により説明。
今後、委員の意見や運営状況により変更する可能性がある。その場合は会議に諮って決定していく。
- 副会長 事務局からの説明は終わったが、質疑等はあるか。質疑・意見等ないため賛成の方の挙手を求める。挙手全員により事務局案のとおり決定する。
- 副会長 「議題4 市内事業所現況調査票(案)について」事務局から説明を求める。
事務局 「資料5 市内事業所現況調査票(案)」により説明。基本的には経済センサスなど公開情報では取得できない項目を調査したいと考えている。
- 副会長 事務局の説明が終わったが、意見等はあるか。
委員 送付対象は決まっているのか。
事務局 対象は決まっていない。調査については、委託で実施する。委託業者が選定するが、選定にあたっては、多摩市内の業種の割合に基づいて決定していくことになる。
- 副会長 その他、質疑・意見等はあるか。質疑・意見等ないため賛成の方の挙手を求める。挙

手全員により事務局案のとおり決定する。

副 会 長
事 務 局

「議題5 部会の設置について」事務局から説明を求める。

「参考資料 多摩市の現状、多摩市の施策」の説明。多摩市の現状・施策を踏まえ、今後は部会を設置してテーマを定め検討していくことになる。テーマを細分しすぎても進行管理が難しく意見もまとまらないため、3つぐらいにしたいと考えている。本日の会議で決定するものではなく、次回、2月の会議で意見をまとめ、来年5月の会議で部会を決定したいと考えている。部会のテーマや委員構成について意見をいただきたい。

副 会 長
委 員

事務局の説明が終わったが、意見等はあるか。

少子化に向かって人手不足で企業は人材確保が大きな課題になる。多摩市の交通は横はいいが、聖蹟桜ヶ丘から永山など、縦のラインの利便性がよくない。ここがよくなれば市内在住者が市内事業所で働ける確率が増えるので有益ではないか。産業振興にとって重要な人材確保の問題を市内の交通の側面からも考えていく必要があると考える。

都市整備部長

聖蹟桜ヶ丘から多摩センター間の移動については、市民の利便性だけでなく、商業的な視点から見ても手を入れる必要があるのではないかという意見をもらっている。バスについては、ルート・本数も充実しており、それなりに確保されているが、一方で、もう少し早く着くよう直通バスを走らせることができないかとの意見もある。路線バスを追い抜いていくような直通バスができるのか、それをやったとして何分の縮減になるのかを考えると、なかなか実現に結びつかない実情がある。交通事業者の問題だけでなく道路の構造も課題の一つと考える。多摩センターは交通の結節点ということでビジネスの観点からは高い評価をいただいている。また、業務核都市として商業業務についても魅力を高めていこうとしている。多摩都市モルルールは、上北台から箱根ヶ崎へ北進ルートの延伸の計画が進んでいる。一方で、多摩センターから町田駅は、延伸の計画はあるが、費用対効果を含め、沿線の利用価値のアップなど、実現できるかどうかについて、多摩市と町田市が中心となって検討している。また、将来的には、小田急多摩線唐木田からの延伸の計画もある。都道の尾根幹線の拡幅工事を行っているが、市民の生活の足だけではない、商業業務としての発展により力を入れていくタイミングになってきている。

委 員

市内のバス事業については、市民の利便性向上に努めている。この会議を通じて、他の事業と他の取り組みを合わせて改善が図られれば、お互いにとってよいものになるので、ご意見等があればいただきたい。

委 員

永山六丁目については、交通の便が悪いため、周辺の大手の会社は送迎バスを出しているが、中小企業で働く人は、豊ヶ丘4丁目バス停から歩くようになり、2か月くらいで辞めてしまう人が多い。大きい企業も多く、働いている人も多いエリアだが、公共の乗り物がなく、駐車場もない状況で、人を集めるという意味では、二重苦・三重苦だという意見をあのエリアの社長が言っていた。次に考えることは、他に移転することになる。大きな問題があるエリアで、企業負担が大きく、人を呼ぶ魅力が表現できない。バスもバス停まで10～15分かかるので、工業団地内を循環し、企業ルートでバスを走らせれば、それなりの顧客があると思う。ビジネス時間帯だけでも走らせることができれば、いろんな需要が生まれると思う。また、食事をする場所がない。働く人がいるところで食べる場所がない。人が生きていくために必要なものであることを部会のテーマに入れてもらえればと考

- える。
- 副 会 長 中小企業金融の立ち位置からすると、お金で困っている社長は少なくなっているが、人材で困っている社長は多くなっていると感じる。3つの部会の設置ということで話し合ってもらったが、他に意見等はあるか。
- 委 員 廃業率が高いのが気になる、開業率を上げていくのと同時に辞めさせない、長く働いてもらう、地域に定着するようなものがセットであるといいのと、商業の賑わい活性化は直接地域に還元されるものなので、開廃業と商業活性化のテーマがあるといい。
- 副 会 長 いただいた貴重な意見を参考に、これから検討させてもらう。
続いて報告となるが、何かあるか。
- 事 務 局 「資料6 東京都多摩市基本計画、資料7 地域未来投資促進法に係る基本計画 効果検証」を説明。もう1点、本日の会議について、議事録を事務局で作成する。作成した議事録は、会長及び議事録署名委員2名による署名が必要であり、議事録署名委員の指名をお願いする。
- 副 会 長 議事録署名委員について指名をする。なお、磯貝委員は所管部長でもあるので毎回確認をお願いする。もう1名については、竹内委員を指名する。以降は、名簿の上から順番に指名する。その他、何かあるか。
- 事 務 局 今後の予定について、次回の会議は来年2月に実施予定。異動等生じた場合は事務局まで連絡をお願いする。
- 副 会 長 以上で、第1回多摩市産業振興推進会議を終了する。

(閉会時刻：午後7時10分)

会議録：経済観光課商工観光担当作成